



ご飯を食べて欲しい！

自宅や施設から入院した患者さんが、入院後食事を食べなくなる。

これ、あるあるではないですか？

嚥下障害になる疾患があるわけでもないのに、食事量が少ない。これは時に、退院先に受け入れてもらえないことがあり、調整に入っても、困難を極めます。

また、経管栄養が開始になっても同様に、退院先の再調整が必要になります。



食べる量UPのための調整の1例

①病棟スタッフ

→施設の介護士がどのようにしていたかを問い合わせ、実践できる部分をやってみる、食事介助の方法を参考にしてみる

②道具

→いつも使い慣れた車椅子を使う、自助具を持ってきてもらい、使ってもらう

③給食

→病院食を調整して今まで食べていた食事に近づけてみる、好きなものを持ってきてもらう、給食可能な限り調整する

MSWIは、入院前の状況を聞き取るなど、施設スタッフとの橋渡しもします。入院前の状況を確認したい、施設やご家族に連絡をとり、訪ねたいことがあれば、一度MSWIにご相談ください。

第20回 岐阜南NST研究会報告

2月1日（木） 18:00～19:30 南館1階 MGHホール



特別講演 『 目指せ！経腸栄養の達人！
～胃瘻などからの経腸栄養の

トラブルシュー

ちゅうざん病院 副院長 金城大学』客員教

授

吉田 貞夫 先生



今回のNST研究会には、沖縄の吉田貞夫先生をお招きしました。アンケートでの院内だけでなく連携施設のスタッフからの希望が多い、経腸栄養についてご講演いただきました。先生からは経腸栄養の話に加え、認知症や腸内細菌等も織り交ぜてお話していただきました。より詳しく聞きたい、知りたいという栄養管理へのモチベーションUPに繋がった研究会となりました。



☆吉田先生を囲んでの記念撮影☆

お知らせ

第10回 院内NST研修会 南館1 FMGHホー

《応用編・修了式》 3月14日（水） 17:30～18:30

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方ならどなたでもご参加下さい！！

◆ NST勉強会、NST研究会、リンクナース勉強会、院外研修会の出席合計ポイント
10ポイント以上獲得された方には、
NSTメンバーとして、NSTバッチを差し上げます♪

◆ 対象者の方には第10回院内NST勉強会後にNSTバッチを
配布致しますので、3月14日のNST勉強会に参加表（カード）
をお持ちの上、必ずご出席下さい！



ワニバッチ